



阿部幸一議員
(政和会)

高齢者の生活対策は

生きがい対策の充実に努める

問 65歳以上の高齢者は何%か。

国民年金で生活をしている高齢者が安心して暮らせる対策は。

佐藤町長 町の4月1日現在の高齢化率は33・4%である。

現在、高齢者が安心して生活できる対策として見守りネットワーク事業や要介護高齢者おむつ給付、緊急通報システム等の在宅支援事業、また老人クラブやシルバー人材センターへの活動を支援し、高齢者の生きがい対

策を推進している。

今後も高齢者が毎日健康で安心して生活できる環境づくりのため、在宅支援、生きがい対策および介護予防事業の充実に努めていく。

問 国民年金では高齢者は生活できない。財政状況は厳しいと思うが、検討委員会のようなものを考えては。

鈴木健康福祉課長 現時点では検討する段階にはない。現在実施している事業を継続・充実させていきたい。



各地区で月に1、2回程度お年寄りが集まり、健康体操などを行っています

26年度の税収見込みは

町税約9億719万円を確保

問 26年度の税収をどのように見込んでいるか。

佐藤町長 23年度の税収は震災前に比べ6割まで減少したが、25年度は8

割まで回復し、収入額は約9億7300万円となっている。

26年度当初賦課に係る町民所得の総額は、震災

前の水準まで回復していることから、当初予算で計上している町税約9億719万円は確保できると見込んでいる。

水産資源保全と漁業管理は

漁場環境の保全に取り組み

問 水産資源の保全と漁業の管理をどのように考えているか。

佐藤町長 安定した漁業を続けるため、水産資源の管理と漁場環境の保全が重要と考えている。

限りある資源を守り、つくり育てる漁業を推進するため、町内各漁協が行うアワビ・ウニの放流事業や漁業権連合管理委

員会が行う磯根資源の調査を支援し、ボランテイアダイバーによる漁港内のがれき撤去などをおして漁場環境の保全に取り組んでいく。

その他の質問

- ◆ NPO問題について
- ◆ 給食センターについて
- ◆ 荒神から旧タブの木荘への道路について
- ◆ 復興事業について